



万博やめて能登地震復興支援を



大阪から石川民医連へ水を届けました



金沢市内の道路も

多くの家屋が倒壊、津波や大規模火災など甚大な被害をもたらしました。多くの被災者が、オンラインが途絶え、寒波が押し寄せる厳しい環境での生活を強いられています。

民医連の輪島診療所は大きな被害を受け、職員も被災し、多くは避難所から通っている状況です。全国の民医連から輪島診療所へ順次支援に入っています。1月6日、大阪民医連から支援の水を届けに行きました。みはらグループでも、各事業所に募金箱を置き、能登半島地震支援募金活動を始めています。お預かりした支援募金は全日本民医連を通じて被災地にお届けします。

# 能登半島地震の復興支援を ただちに大阪万博を中止して

1月1日、震度7を記録した能登半島地震により、多くの家屋が倒壊、津波や大規模火災など甚大な被害をもたらしました。多くの被災者が、オンラインが途絶え、寒波が押し寄せる厳しい環境での生活を強いられています。

日本人の2人に1人は、一生のうちにがんにかかり、男性で4人に1人、女性で6人に



阪府指定のがん診療拠点病院として、国立がん研究センターに資料を提供しています。

【表2】は、耳原総合病院で大腸がんが見つかった方の経緯とがんの進行度です。大腸がん検診でがんが見つかることです。

【表2】は、「便潜血検査」いわゆる検便です。

写真下にある、便採取容器で2日分の便を採取していただきま

す。この検査は、精度が高い検査方法です。

がんの早期発見が大切であるかが分かる資料です。

## 1年に1回は大腸がん検診を受けましょう！

1人は、がんで亡くなるとされています。【表1】は、2021年のがん発生部位別の死

亡順位です。大腸がんは、男性が2位、女性が1位で、男女とも50代から増加傾向にあります。

早期がんで、治療で完治の可能性が高いがんでした。症状があつた検査を受けに来られた方の約4割は、進行がんで、手術が必要な方でした。身体的、経済的な負担からも、いかに

つた方は、8割以上が早期がんで、治療で完治の可能性が高いがんでした。症状があつた検査を受けに来られた方の約4割は、進行がんで、手術が必要な方でした。身体的、経済的な負担からも、いかに

の高い検査方法で、本来、検査費用は高額なのですが、自治体が補助金をだしているので安価で検査が受けられるのです。（堺市は2024年3月末まで無料です）

また、がん検診で

「陽性」と診断された方は、必ず精密検査（大腸カメラ）を受けて下さい。残念ながら、堺市の受診率は府下最下



検便採取容器

この言葉を合言葉に、皆さんの周りの方々に、がん検診を大いに勧めましょう。

同仁会 健診推進委員会 北出

表1 がん死亡数の順位 (2021年)

	1位	2位	3位	4位	5位
男女計	肺	大腸	胃	脾臓	肝臓
男性	肺	大腸	胃	脾臓	肝臓
女性	大腸	肺	脾臓	乳房	胃

人口動態統計がん死亡データより

表2 大腸がん発見経緯別進行度

	早期がん	リンパ節転移	進行がん	その他
大腸がん検診	82.8%	11.3%	5.9%	0.0%
有症状で受診	42.0%	17.9%	36.2%	3.9%

耳原総合病院 医療情報管理課資料より

位(2020年)です。  
「早ければ早いほど良い」